

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 3月17日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 2070501065
法人名	特定非営利活動法人 心
事業所名	グループホーム こころ
所在地	長野県飯田市松尾上溝6301番地1 (電 話) 0265-23-1174

評価機関名	NPO法人 総合福祉評価機構 長野県事務所
所在地	長野県飯田市上郷別府3307番地5
訪問調査日	平成20年2月29日

【情報提供票より】(20 年 2 月 10 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	14 人 常勤 6 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷 金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(2 月 10 日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86 歳	最低	81 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長野整形外科クリニック、アルプス歯科、川井歯科、飯田病院、みかさクリニック
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

飯田市郊外にある2階建て住宅を改築したグループホームで、外観はもとより、玄関を入ると上がり框があり、廊下の左右には畳を敷いた居室もある、施設的でなく、まったく普通の家庭そのものである。1階の多目的ホールでは、椅子に座ったり、炬燵に入ったりして食事をする事ができ、「お兄さん」「お姉さん」と利用者と呼ばれながら職員が接している姿は、また、家族そのものである。
「なじみ・人間らしさ」を理念として掲げ、「住み慣れた地域の中、顔なじみの人々の中で、地域の一員として当たり前の生活をする。ご利用者の今までの生き方・生活を尊重し、個性的でその人らしい生活をする」ことを目標としている。3年目なので、改善する余地がいろいろ見られるが、「こころ」の職員の熱意ある取り組みは、必ず地域に根ざしていくと期待できる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 「分かりやすい理念を職員全員で話し合う機会を作る」という課題については、職員会などで意識的に取り組み、職員に浸透してきている。また、「地域に積極的に啓発・広報を行う」という課題については、地域に広報紙を配布しているが、地域に根ざすまでには至っていない。そして、「自分たちでケアを振り返ったり、研修したりすることが望ましい」という課題については、研修は進められてはいるが、介護計画の見直しについて十分でない点が見られる。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員でこれまでの取り組みを見直し、自己評価してきている。そして、今まで気づかなかった点をいろいろ見出し出している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 本年度12月に初めて運営推進会議を立ち上げ、2月に第2回目を開いたばかりである。参加者もまだ少なく、その話し合いの内容も定まってははいない。今回の外部評価や地区のグループホーム連絡会などの参加を通して、検討を進めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見や苦情などは、職員の普段の働きかけを通して個々に対応している。まだ家族会が発足していないこともあり、運営推進会議での話し合いなどで組織的に対応できていない。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域に馴染もうと、地域のお祭りに参加したり、広報紙を配布したりして積極的なかわりを持つようとしている。また、地域の中学生の職場体験や近くの女子短期大学の実習生を受け入れ、開かれたグループホームを目指している。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関入り口やパンフレットに、「なじみ…、人間らしく…」というような、わかりやすい理念を掲げて、グループホーム「ころこ」独自の具体像を持っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホーム「ころこ」の立ち上げ時の思いと理念を、採用時ばかりでなく、職員会や申し送り時に伝え、日々の実践の糧としている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りに参加したり、地域向けのホームの広報紙を配布したりして、地域に馴染もうとしている。また、地域の中学生の職場体験や近くの女子短期大学の実習生を受け入れている。		地域との交流をさらに広げるために、地域の幼稚園・小学校の行事などに積極的に参加したいとの意向が、実現することを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度実施した外部評価について、改善点を話し合い、職員全員で改善策に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	本年度12月に初めて運営推進会議を立ち上げ、第2回を2月に実施した。		運営推進会議の組織や話し合いの在り方を検討し、話し合いの結果を活かしていくことを期待したい。

グループホーム ころこ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の福祉課の職員と連携をとり、介護保険の法律の内容や入居者募集について相談したり、ホームの広報紙「ころこ通信」を届けたりしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者一人ひとりについては、面会時など個々に合わせて口頭で報告している。また、毎月「ころこ通信」を家族に配布し、ホームの様子を知らせている。		利用者一人ひとりの報告は口頭では十分でないので、手書きの便りを工夫していきたい、との意欲の実現が望まれる。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からホームへの意見・苦情等を伝えることのできる窓口を知らせ、いつでも伝えることができることを知らせている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開所3年目を迎えるが、職員等の離職・異動がほとんどない。利用者にとっては馴染みの職員の支援が大切だという、運営者・管理者の配慮がされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護の研修や緊急時の対応などの外部の研修に参加できるように働きかけ、研修後にはその結果を職員会などで報告しあっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	飯田下伊那地区グループホーム連絡会に、本年度の3月から参加する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がすぐに入所するのではなく、家族と一緒に訪問してもらったり、体験したりして、徐々にグループホームの雰囲気に馴染めるようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に食事の準備をしたり、掃除や野菜作りをしたりして、職員は利用者とともに生活しながら、利用者の立場に立った言葉掛けをしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に利用者一人ひとりの生活歴を聞き取ったり、毎日の生活の中での言葉掛けを通したりして、思いや意向を汲み取るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員で利用者一人ひとりに合った介護計画を話し合い、その計画を家族に連絡して、理解していただいている。</p>		<p>個々の介護計画が継続的に立てられていないので、早急に対応することが望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者一人ひとりの介護計画を基に、朝の申し送り時に再確認したり、見直したりしている。</p>		<p>1か月に1回は新鮮な目で介護計画を見直していきたい、との意向が実現することを期待する。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者本人や家族の状況に応じて、通院など必要な支援をしている。		開所してから3年が経過するので、地域の要望があるショートステイのサービスを行っていききたい、との意向が実現することを期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人や家族の状況に応じて、家族あるいは職員代行によるかかりつけ医への受診・往診など必要な支援をして、関係作りに努めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者本人や家族の意向を十分聞き、終末期や重度化した時の対応を行っている。		終末期における対応について、家族・医師・職員とともに本人の意向を踏まえたマニュアルを作成したい、との考えなので実現を期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、例えば、トイレやオムツ交換の時は大声で誘わないなど、日々言葉掛けに留意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の思いや意志を大切にして、例えば、畑に行き作業をしたい、と申し出があれば、ボランティアの方に頼み一緒に出掛けてもらったりしている。また、お茶や入浴についてもその都度声掛けをして、希望にそって支援をしている。		

グループホーム こころ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は1日の大切で楽しみな活動として、利用者が採ってきた野菜と一緒に調理し、ともに話しながら楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日、午後3時以降(特別な場合は午前も)、利用者一人ひとりの希望により、楽しんで入浴することができるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	特に役割分担などはせずに、利用者一人ひとりの体調や様子を見て、味噌汁や天ぷらの配膳をしてもらったり、冷蔵庫からの出し入れをもらったりしている。縫い物なども危ないからやめるのではなく、見守りながらできるようにしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望により、戸外へ散歩やドライブに出かけるようにしている。近くに畑を借りているので、一緒に畑に出かけ、作業をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関や居室には鍵をかけないようにしている。また、鍵をかけなければいけないような状態のときは、伝え、理解をえている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	通報伝達訓練・避難誘導訓練・消火訓練など消防署の指導を受け、利用者が避難できるようにしている。また、万一のときには、職員の連絡網が活用できるようにしている。		

グループホーム ころこ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の状態等によって、栄養摂取や水分確保が十分であるか、個々の「介護の記録」に記録し、申し送りを行って、確認・支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個人の住宅を改築した施設は、施設的にはきちんと整ってはいないが、大きな家といった感じで、利用者が住んでいた普段の家と変わらず、とても安心して生活できる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は利用者や家族の希望により、ベッドだったり、床に畳を敷いたりできるようになっている。また、持ち物もなるべく今まで使用していた物を持ってきて使うようにしている。このようにして、居心地よい配慮がなされている。</p>		